

JABMEE

<https://www.jabmee.or.jp>



協会案内

A s s o c i a t i o n G u i d e

一般社団法人
建築設備技術者協会
JAPANESE ASSOCIATION OF BUILDING MECHANICAL AND ELECTRICAL ENGINEERS

環境や省エネなど建築分野の大きなテーマに最前線で取り組んでいるのが建築設備の技術者であり「建築設備士」です。

建築設備の専門技術者である「建築設備士」は、建物の設備設計を行い建築における環境づくりをはじめとして私たちの社会に広く貢献をしています。

会員特典

1. 協会誌「建築設備士」の配布(毎月)
2. JABMEEナレッジマップ マイページ(会員専用ページ)
 - 協会誌「建築設備士」バックナンバーPDF閲覧
 - WEB会員名簿の閲覧、講習・アーカイブ情報の管理
3. 最新技術をテーマとした講習会・研修会の会員割引価格での参加
4. 「建築設備技術会議」の会員割引価格での参加
5. 各種建物の建築設備の見学会参加
6. 協会取扱図書の会員割引価格での購入
7. 建築設備士を対象とした「JABMEE SENIOR」認定
8. JABMEE CPD(継続職能開発制度)参加費用の会員割引価格の適用
9. 代議員選挙の選挙権および被選挙権

会員の種類と会費

◆正会員

第一種：建築設備士または設備設計一級建築士
第二種：空気調和・衛生工学会設備士

◆準会員

当協会の目的に賛同されて建築設備士等の資格取得を志す方、学生等

◆賛助会員

当協会の目的に賛同されて事業をサポートしていただける企業・団体

【年会費】

第一種正会員	9,600円
第二種正会員	9,600円
準会員	9,600円
賛助会員	30,000円 (一口)

*65歳以上の正会員「シニア会員」を対象に年会費を段階的に減額する会費減免制度があります。

建築設備士

建築設備士制度は、昭和58年建築士法の改正を受けて創設され、その具体的な内容は昭和60年の建設省告示で定められました。そして、平成26年に建築士法上に「建築設備士」の名称が規定されました。

建築設備士は、建築設備全般に関する知識および技能を有し、建築士に対して高度化・複雑化した建築設備の設計・工事監理に関する適切なアドバイスを行える資格者として位置づけられています。《建築士法(第20条)》において『建築士は、大規模の建築物その他の建築物の建築設備に係わる設計または工事監理を行う場合において、建築設備士の意見を聴いたときは、設計図書または工事監理報告書において、その旨を明らかにしなければならない』こととされており、平成26年の建築士法改正により、延べ面積2,000m²を超える建築物の建築設備について建築設備士の意見を聴くことが建築士の努力義務になりました。

なお、建築設備士資格取得後、建築に関する実務経験年数4年以上で一級建築士の受験資格が得られます。

登録者数：38,784名(令和4年3月現在)



建築設備技術者協会は、「建築設備士」、「設備設計一級建築士」および「空気調和・衛生工学会設備士」を中心とした会員を擁する高度な建築設備技術を備えた専門家の職能団体です。

倫理綱領

私たち建築設備技術者協会の会員は、人間の健康と安全そして自然環境の保全を担う技術者として、その使命と職責を自覚し、品位の向上と技術の研鑽に努め、誠意をもって職務を遂行することを宣言し、併せて建築設備に係わる全ての技術者と社会の信頼を得るため、本綱領を定めています。

JABMEE VISION 2030

2030年に向けて取り組むべき建築設備の技術的な課題や協会運営の方針などを示しています。時代の課題を的確に捉え、協会が進むべき方向を明確にしていく海図であり、将来ビジョンを示すものです。協会ホームページでご覧いただけます。

建築設備とは

建築設備の目的

..... 建物の目的に合った環境を作ります。

- ・人が生活し仕事をする建物における安全で快適な環境作り
- ・工場などの産業用の建物における製品の品質確保や生産性向上のための環境作り
- ・図書館や博物館における貴重な資料や文化財を保存するための環境作り

建築設備の種類

.....

- ・空気調和・換気設備：室内温湿度調整・空気清浄化など
- ・給排水衛生設備：給水・給湯・排水・ガスなど
- ・電気設備：受変電・照明・情報通信・電気配線など
- ・防災設備：消火・排煙など
- ・搬送設備：エレベータ・エスカレータなど

社会からのニーズ

..... 地球環境保全や高度情報化に伴い、安全や快適性に留まらず、省エネルギー性・信頼性・経済性など多様な面からの検討が期待されています。

建築設備技術者の役割

● ライフサイクルマネジメント

事業計画から設計・施工・運用・改修までの長期にわたる建物のライフサイクルの中で、省エネルギー・省コスト・環境配慮の手法などを提案します。

● 省エネルギー・省コストを考慮した設備の提供

快適な空間づくりはもとより、省エネルギーとコストの最適なバランスを考慮した設備を提供します。

● 快適な室内環境の提供

空調換気・給排水衛生・電気・防災・搬送などの設備を計画・設置し、生活や仕事に快適な環境を提供します。

● 環境負荷の低減を考慮した建物・そして都市環境の創出

環境に配慮したグリーンビル、CO₂の排出を抑えた低カーボン建築など、地球環境を考えます。

● 災害に強い建物の提供

災害時に必要となる水・トイレ・情報ライン・電力等のライフラインの供給など、BCP(Business Continuity Plan：事業継続計画)に必要な設備システムを提供します。

● 設備の診断

設備の寿命は15～25年であり建物の寿命(50～60年)に比べ長くありません。設備の状況を調査し、更新や改修の必要性、適切な時期、適切な方法を提案します。



小冊子「建築設備士」活用案内
協会ホームページからPDF版を
ダウンロード(無償)できます。

私たちは建築設備技術の進歩改善に努め、
建築設備技術者の資質と社会的地位向上を図り、
質の高い建築物と建築設備を実現します。

事業案内



建築設備士登録

建築設備士登録は、建築士法施行規則第17条の35にもとづく建築設備士の登録機関である当協会が行うものです。登録は、当協会本部に常置される「建築設備士登録簿」に、「氏名」、「生年月日」、「住所」、付与される「登録番号」、「登録日」等を登録することによって行われます。登録者には、「建築設備士登録証」を交付します。



JABMEE CPDの実施

建築設備技術者の倫理や技術の向上を目的とし、継続的な教育を通じてその質を客観的・社会的に認証するシステム(〈JABMEE CPD制度(継続能力開発制度および専門領域認定・表示制度)〉)を実施します。



JABMEE SENIORの認定

JABMEE CPDを着実に実施した方を対象に、特に専門領域(空調・衛生・電気)に長け、技術に対する真摯な倫理を有する建築設備士として、称号(〈JABMEE SENIOR〉)を当協会が認定し、積極的に社会に向けてアピールしています。



講習会・研修会の開催

建築設備の基礎から最新技術まで、地球環境、省エネルギー、リニューアルなどのテーマを取り上げ、各種の講習会・研修会を開催し、建築設備の世界をリードする人材を育成しています。



建築設備の情報誌「建築設備士」(月刊)

会員と協会をつなぐ情報誌として、最新の建築設備の技術情報や竣工した建物、法改正等、また、定期的に特集号として一定のテーマに焦点を絞った記事を掲載しています。また、12月号は年鑑号として、設備設計者に設計基礎資料として広く活用いただいています。



建築設備士の日記念事業

建築設備士、設備技術者の存在を広く知らせるため、建築設備士資格者を定める告示(建設省告示第1526号)が交付された11月18日を「建築設備士の日」として制定し、本部、各支部において記念行事を開催しています。



カーボンニュートラル賞

建築関連17団体により2009年12月に提言された『建築関連分野の地球温暖化対策ビジョン2050～カーボン・ニュートラル化を目指して～』では、2050年の目標を建築に関わるすべての人々と共有し、建築・都市のカーボン・ニュートラル化に取り組むことが謳われています。

本表彰事業は、カーボンニュートラル社会の実現に向けた建築物、建築設備に関わる優れた業績を表彰することで、その意識の浸透と推進を図ることを目的としております。



建築設備技術遺産

次世代に伝えるべき建築設備部門の技術および設備関連情報を、『建築設備技術遺産』として認定することで、建築設備の『技術』『役割』『文化』を多くの方々に広めていく活動です。



設備女子会

建築設備業界で活躍する女性技術者にとって魅力ある、働きやすい環境づくりや社会的評価の向上を目的に、勉強会や交流会などの様々な活動を通してネットワークづくりを行い、業界全体の活性化を目指します。

設備女子会ホームページ URL: <https://www.setsubijoshi.jp/>



出版物の発行

会員に対しては、会誌『建築設備士』を発行し、協会活動・竣工建物の紹介や施工例など建築設備に関する最新の情報をお届けしています。そのほか実務に役立つ技術図書や建築設備士受験テキスト、中学生や一般社会人のための建築設備技術絵本『くうき・みず・でんき』、『ストップ・ザ・温暖化』なども出版しています。



技術絵本 I「くうき・みず・でんき」

建築設備というものが、建物の中や外で、わたしたちが安全にそして快適にすごすために、なくてはならない働きをしていることをイラストでわかりやすく学べる技術絵本です。学生や新入社員研修にもおすすめです。



ホームページから [URL: https://www.jabmee.or.jp](https://www.jabmee.or.jp)

ZEBデータベース

JABMEE ZEBデータベースでは、ZEB、nearlyZEB、ZEReadyに該当する詳細な建築物データを、エリアやZEB区分、省エネ創エネ技術などの項目や地図分布(多様な項目)から検索、閲覧することができます。合理的でハイレベルなZEBの実現に是非、お役立てください。隨時、データ登録も受付けています。



JABMEEナレッジマップ

JABMEEナレッジマップは、建築設備技術者の知識や技術の習得・研鑽をサポートするウェブサイトです。セミナー検索、アーカイブ検索など閲覧はどなたでも利用できます。会員限定サイトの「マイページ」では、会誌バックナンバーや会員名簿の閲覧などを利用できます。



協会の組織構成



総会は、正会員の中から選挙によって選ばれた代議員によって構成され、定款の改正、役員の選任、その他の重要な事項について審議・決議を行います。協会業務は、総会および理事会の決定に基づき執行されます。また、協会(本部・支部)の中には各委員会があり、さまざまな活動を行っています。

本部

〒107-0052 東京都港区赤坂2-21-3 レンドビル5F
TEL : 03-5408-0063 FAX : 03-5544-9510
URL : <https://www.jabmee.or.jp>
E-mail : info@jabmee.or.jp



JABMEE ジャブミー
 Japanese Association of Building
 Mechanical and Electrical Engineers

一般社団法人

一般社団法人 建築設備技術者協会

JAPANESE ASSOCIATION OF BUILDING MECHANICAL AND ELECTRICAL ENGINEERS

■ 北海道支部(北海道)

〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西19丁目1-1 北海道設備会館
TEL : 011-621-4106 FAX : 011-642-6720

■東北支部(青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県)
〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-5-22 宮城県管工事会館 3階
TEL : 022-224-7091 FAX : 022-797-2486

■関東支部（茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県
〒107-0052 東京都港区赤坂2-21-3 レドンドビル5F
TEL：03-5408-0063 FAX：03-5544-9510

関東支部 群馬支所
〒371-0805 群馬県前橋市南町2-42-6 MR前橋南町 301号室

■北信越支部 (長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県)
〒921-8526 石川県金沢市御影町10-7 菱機工業(株)内
TEL: 076-245-6111 FAX: 076-280-6888

■中部支部(岐阜県、静岡県、愛知県、三重県)
〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1-7-31 山田ビル 3階
TEL: 052-253-7927 FAX: 052-253-7928

中部支部 静岡支所
〒422-0867 静岡県静岡市駿河区南町6-1
南町第一ビル 4階 静岡県冷凍空調工業会内
TEL: 052-253-7637 FAX: 052-253-7638

TEL: 054-285-2686 FAX: 054-288-3322
■近畿支部(滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)
〒559-0034 大阪府大阪市住之江区南港北2-1-10
ATC/ITM棟 11F
TEL: 06-6616-2650 FAX: 06-6616-7000

TEL: 06-6612-8858 FAX: 06-6616-7098
■中国・四国支部(鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県)
〒730-0051 広島県広島市中区大手町3-8-22 広島管工事会館

TEL : 082-244-1770 FAX : 082-241-4735
中国・四国支部 四国支所
〒760-0004 香川県高松市西宝町3-11-13 平池ビル2F
TEL : 087-873-2918 FAX : 087-836-9396

■九州支部(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)
TEL: 092-712-5122 FAX: 092-714-4201

TEL : 092-713-5188 FAX : 092-714-4201
九州支部 沖縄支所
〒901-2101 沖縄県浦添市西原1-4-26 沖縄建築今館